

# 日本語部

## Japanese Language Ministry

2024年2月11日

シリーズタイトル: 星のように輝く

今週のタイトル: **性の贈り物**

創世記 1章および 2章

ヴィン・ドアン牧師

1. 悪い側面
2. 良い側面
3. 美しい側面

### 礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

### 教会からのお知らせ

申込先はこちらより: [http://eepurl.com/dC\\_JaL](http://eepurl.com/dC_JaL)

## 考えてみましょう:

- クリスマンとして、性についての議論にどのように取り組むべきでしょうか？なぜ私たちはこのトピックを避けがちなのでしょうか？
- 人間の性は、創造者であられる神の栄光をどのように指し示しているのでしょうか？
- 神の恵みの現実、罪との闘いを体裁よく見せようとする必要から、どのように私たちを解放してくれますか？
- 性的な罪は他の種類の罪とどのように類似しており、また異なっているのでしょうか？キリストの十字架は、どのように私たちを罪と恐怖から解放し、希望と従順な心を私たちに与えてくださるのでしょうか？

## 創世記 1 章

1 初めに、神は天地を創造された。2 地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。3 神は言われた。

「光あれ。」

こうして、光があった。4 神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、5 光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。

6 神は言われた。

「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」

7 神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。そのようになった。8 神は大空を天と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第二の日である。

9 神は言われた。

「天の下の水は一つ所に集まれ。乾いた所が現れよ。」

そのようになった。10 神は乾いた所を地と呼び、水の集まった所を海と呼ばれた。神はこれを見て、良しとされた。11 神は言われた。

「地は草を芽生えさせよ。種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける果樹を、地に芽生えさせよ。」

そのようになった。12 地は草を芽生えさせ、それぞれの種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける木を芽生えさせた。神はこれを見て、良しとされた。13 夕べがあり、朝があった。第三の日である。

14 神は言われた。

「天の大空に光る物があって、昼と夜を分け、季節のしるし、日や年のしるしとなれ。15 天の大空に光る物があって、地を照らせ。」

そのようになった。16 神は二つの大きな光る物と星を造り、大きな方に昼を治めさせ、小さな方に夜を治めさせられた。17 神はそれらを天の大空に置いて、地を照らさせ、18 昼と夜を治めさせ、光と闇を分けさせられた。神はこれを見て、良しとされた。19 夕べがあり、朝があった。第四の日である。

20 神は言われた。

「生き物が水の中に群がれ。鳥は地の上、天の大空の面を飛べ。」

21 神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。22 神はそれらのものを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ。」

23 夕べがあり、朝があった。第五の日である。

24 神は言われた。「地は、それぞれの生き物を産み出せ。家畜、這うもの、地の獣をそれぞれに産み出せ。」

そのようになった。25 神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。26 神は言われた。

「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」

27 神は御自分にかたどって人を創造された。

神にかたどって創造された。

男と女に創造された。

28 神は彼らを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」

29 神は言われた。

「見よ、全地に生える、種を持つ草と種を持つ実をつける木を、すべてあなたたちに与えよう。それがあなたたちの食べ物となる。30 地の獣、空の鳥、地を這うものなど、すべて命あるものにはあらゆる青草を食べさせよう。」

そのようになった。31 神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

## 創世記 2 章

1 天地万物は完成された。2 第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。3 この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。

4これが天地創造の由来である。主なる神が地と天を造られたとき、5地上にはまだ野の木も、野の草も生えていなかった。主なる神が地上に雨をお送りにならなかったからである。また土を耕す人もいなかった。6しかし、水が地下から湧き出て、土の面をすべて潤した。7主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。8主なる神は、東の方のエデンに園を設け、自ら形づくった人をそこに置かれた。9主なる神は、見るからに好ましく、食べるに良いものをもたらずあらゆる木を地に生えいでさせ、また園の中央には、命の木と善悪の知識の木を生えいでさせられた。

10エデンから一つの川が流れ出ていた。園を潤し、そこで分かれて、四つの川となっていた。11第一の川の名はピションで、金を産出するハビラ地方全域を巡っていた。12その金は良質であり、そこではまた、琥珀の類やラピス・ラズリも産出した。13第二の川の名はギホンで、クシユ地方全域を巡っていた。14第三の川の名はチグリズで、アシユルの東の方を流れており、第四の川はユーフラテスであった。

15主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた。16主なる神は人に命じて言われた。

「園のすべての木から取って食べなさい。17ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」

18主なる神は言われた。

「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」

19主なる神は、野のあらゆる獣、空のあらゆる鳥を土で形づくり、人のところへ持って来て、人がそれぞれをどう呼ぶか見ておられた。人が呼ぶと、それはすべて、生き物の名となった。20人はあらゆる家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名を付けたが、自分に合う助ける者は見つけることができなかった。

21主なる神はそこで、人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、あばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれた。22そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、23人は言った。

「ついに、これこそ

わたしの骨の骨

わたしの肉の肉。これをこそ、女(イシャー)と呼ぼう

まさに、男(イシュ)から取られたものだから。」

24こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる。

25人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった。

# ウィリンドン教会 同時通訳クイックスタート案内

事前に行う事及び持参するもの：

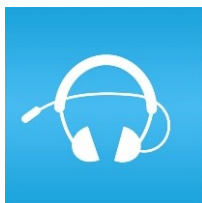
- ・ 自宅で手順 1 を実行します。
- ・ イヤホンをお持ちください。

(イヤホンは鍵かクレジットカードを通訳デスクに預けて借りることもできます)

**要注意：**周りの人たちに配慮しましょう。イヤホンをしないで携帯電話から聞くことは正しいことではありません。

**注意：**通訳ネットワークを使用している時にはインターネットに接続できません。

1、アップル App Store または Google Play ストアから「Listen Everywhere」をダウンロードします。



または、このQRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



2、「ウィリンドン通訳」Wi-Fi ネットワークを選択してください。ネットワークに接続するためのパスワードはありません。

3、アプリを開き、言語を選択します。